la santé 健 康

ラ・サンテ

vol.164
令和６年10月25日
2024 秋

編集・発行：社会医療法人玄真堂
広報委員会：山口江梨子、二木麻衣
〒871-0012 中津市宮夫14-1
TEL0979-24-0464
http://kawashimahp.jp

『みんなアイドル』 川嶌 照代 画

理　念

- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療・介護を提供します
- 安心･安全･やすらぎ･心のこもったサービスを提供します
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド･コンセント（説明･同意･納得）を含む安全管理を徹底します
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します

第5回アジア太平洋潜水高気圧医学会議に参加して

社会医療法人 玄真堂　川嶌整形外科病院
院長　川嶌　眞之

8月24～25日の2日間にわたり第5回アジア太平洋潜水高気圧医学会議（The 5th conference of Asia-Pacific Undersea and Hyperbaric Medical Society・APUHMS）が台湾の台南市・奇美医院（Chi Mei Medical Center）で開催され、川嶌眞人理事長、宮田健司臨床工学技師と共に参加しました。APUHMSは中国の首都医科大学北京朝陽病院の高春進教授（Prof. Gao Chun-Jin）・初代会長の下、2013年に第1回会議が中国の青島で開催され、以来、2年おきに開催されてきました。川嶌理事長が第2代会長に就任し、前回2019年に中津にて第4回会議を開催して以来、コロナ禍の影響で長らく中断されていました。今回は台湾の高気圧海底医学会名誉会長でAPUHMSの第3代会長となり、また川嶌理事長と40年来の親交がある奇美医院の牛柯琪教授（Prof. Niu, Ko-Chi）が中心となり、台湾・中国間で行われている第14回循環器科学シンポジウムとの共同開催という形で行われました。日本、台湾、中国の他、インドやシンガポールからの参加・発表もありました。

台湾の各会長と共に

川嶌理事長はAPUHMS会長として、本学会の歴史や日本の高気圧潜水医学の現状、当院の活動について会長講演を行い、私は宮田技師の協力の下、1981年の開院以来、当院で治療を行った骨髄炎患者931例についての調査及び治療結果についての講演を行いました。また日本からは東京医科歯科大学の柳下和慶教授（日本高気圧潜水医学会代表理事）、小柳津卓哉講師が参加され、スポーツ

各国の参加者と共に

医学に対する高気圧酸素治療についての長年にわたる研究活動について講演をされました。

今回、循環器科と合わせて５００人以上の参加者が集まったとのことで、ＡＰＵＨＭＳも２会場で同時進行されるなど、大変活発な会議でありました。特に注目すべきは、台湾から臨床・基礎研究共に多くの発表があり、中でも整形外科・形成外科分野の医師が非常に多く中心となっていることでした。２０２４年に出版されたＵＨＭＳ（国際潜水高気圧医学会）適応症マニュアルでは新たに大腿骨頭壊死が適応症として掲載されましたが、台湾では早速複数の症例報告がなされており、ＣＯＶＩＤ―19でも注目されたように、世界に先駆けて先進的な取り組みを柔軟に、かつ積極的に行っていることに、大変刺激を受けました。

台南は台北から高速鉄道で２時間程の距離で、台湾で最初に首都が置かれた古都であり、もともと台湾とはこの地域を指す地名だったそうです。市街地は近代的な建物と大正・昭和を感じるような日本の影響を受けた建物が混在しており、ノスタルジックな街並みを楽しむことができました。残念ながら今回はホテル近辺を散策・見学したのみでしたが、もし機会があれば、次回は有名な台南グルメと多くの観光地を巡りたいと思いました。

ＡＰＵＨＭＳの初代会長でその設立と発展に多くを寄与された高春進教授が２０２３年12月１日に78歳で急逝されました。ここに生前のご厚情に深く感謝申し上げるとともに謹んで哀悼の意を表します。

最後になりましたが、当法人の設立と発展に尽力し、長年、本誌ラ・サンテの表紙を飾ってくれた母・川嶌照代（玄真堂常務理事）が本年５月３日に80歳で急逝いたしました。私ども家族、そして法人職員をいつも明るく照らし続けてくれた人生でした。生前のご厚誼に心より感謝申し上げますとともに、神葬祭並びに中元祭にお心を寄せていただきました皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。

台南の町並み

台南孔子廟前にて

生前の川嶌照代常務理事

第４回APUHMS in 中津（2019年、前列真ん中が高春進教授）

灯（ともしび）

日本高気圧潜水医学会を中津で

来たる6月28、29両日、中津市のヴィラルーチェにおいて、第58回日本高気圧潜水医学会学術総会が川嶌整形外科病院川嶌真之院長主催の下で開催される。本学会は高気圧医学や潜水医学における日本のトップレベルの研究者を集めて毎年開催されるものであり、筆者も1994年、第29回会長を務めたことがある。

米国から国際潜水高気圧環境学会のジョン・ビーター理事長をはじめ、米国を代表する研究者2人も参加する。特に注目されているのは、29日午後3時40分から開かれる市民公開講座。講師は関邦博博士で、「圧力と栄養と健康」というテーマで講演される。

博士は科学技術庁（現文部科学省）所管の海洋科学技術センター（現海洋研究開発機構）で300㍍潜水の先端医学の研究をされており、潜水病骨壊死をテーマとする筆者とも共同研究を重ねていた。91年には国際水中科学技術アカデミーから水中分野のノーベル賞と呼ばれる「トライデント金賞」を東洋人として初めて受賞。ここ10年はボリビアのアンデス地方に移住し、「健康寿命と不老長寿」を研究されている。

この地域は家森幸男京都大名誉教授が著書「長寿の秘密」で書いているように、100歳以上の健康長寿者が極めて多く分布していることでも知られている。この講演は無料で一般市民にも公開され、高齢者が増える中で、元気高齢者の励みになるのではないかと期待している。

川嶌　真人

（川嶌整形外科病院理事長・中津市）

大分合同新聞　2024年（令和６年）６月５日（水曜日）

灯（ともしび）

一節截

去る6月13～15日の期間、米国ニューオーリンズ市において国際潜水・高気圧環境医学会が開催され出席した。

私は1973年以来、50年間にわたってほぼ毎年のようにこの学会に論文を発表してきた関係から、既に複数の賞を受け、7年前からはヤングサイエンティスト賞という学術賞を「真野・川嶌賞」として授与する立場となっている。

私がこの分野に関心を持ったのは70年。級友の真野喜洋君、後の東京医科歯科大名誉教授が100㍍潜水実験中に減圧症となった。同大での再発治療後も目まいのため歩行困難となり、私が勤務していた虎の門病院の神経耳鼻科・小松崎篤部長（後の同大耳鼻咽喉科教授）の診察を受けるためベッドを準備し、治療に協力したことから私がこの分野に関与することとなった。

このことがきっかけで、72年から九州労災病院（北九州市）に勤務することとなり、天皇民和院長から整形外科の臨床のみならず「潜水病と骨壊死」の研究をするように指示され、ほぼ毎年米国の学会で発表することとなった。

前記の賞を授与する際には、恒例で私に笛を吹く機会が与えられている。今回は100年余り前の後醍醐天皇の時代に端を発し、中津藩の蘭学者前野良沢が愛用した「一節截（いっせつぎり）」という笛で「荒城の月」を演奏したところ、全員のスタンディングオベーションを頂いた。

川嶌　真人

（川嶌整形外科病院理事長・中津市）

大分合同新聞　2024年（令和６年）７月３日（水曜日）

おつかれさまでした

退任のご挨拶

医　局
濱田　浩輝

つい先日新任のご挨拶を申し上げたところですが、いつの間にか異動の時期となってしまいました。もともと半年の予定ではありましたが、こんなにも早く時間がたってしまうとは思いもよりませんでした。

私はこれまで東北・関東エリアの病院で働いてきました。九州エリアに住むのも、勤務するのも初めてのことでした。九州エリア特有の文化・風土に触れながらの生活は充実しておりました。そして、川嶌整形外科病院は大分県北部ならびに福岡県豊前地域を中心とした地域の皆さんに支えられている病院であると実感しました。

これだけの規模の整形外科の単科病院でありながら、高気圧酸素治療も行える設備も持っており、一般的なものから特殊なものまで様々な疾患、病態に対し仕事ができた経験は、これからの整形外科医としての人生で大きな意味をもっていると思います。

最後になりますが、川嶌整形外科の益々のご発展を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。短い間でしたがお世話になり、ありがとうございました。

3病院研修会に参加してきました！

事務局総務部　副主任　瀬口　清美

9月21日（土）に熊本県の成尾整形外科病院、富山県の高岡整志会病院と当法人にて行う3病院研修会が開催されました。今年は成尾整形外科病院がホスト病院となり、当法人からは26名の各部門の職員が参加いたしました。

3病院研修会はさかのぼること、20年ほど前から同じ整形外科の同じ規模の6つの病院から始まったそうです。数年に一度、それぞれのホスト病院の地域を訪れ、職員の友好を深めながら、各専門分野で悩んでいることやお互いの情報共有を行う研修会です。

同じ総務部の方とお話をしていると、それぞれの病院ごとに特色や悩みごとがあり、意見交換をしていくと、初めてお会いして話した方々ばかりなのに、ほんの2時間程度で、気心の知れた仲間というような感覚におちいってくるのです。これが3病院の力…！これから日本が迎える人口減少の世界で、病院経営の道筋を考えさせられる貴重な時間を過ごせました。

研修会後は懇親会で、「山鹿灯籠踊り」「牛深ハイヤ節踊り」などが繰り広げられ、2時間前に初めて会ったにもかかわらず成尾整形外科病院の方に「あなたなら踊れる！」と断言され、踊りに駆り出され、ついにはみんなで踊り出す…と熱烈歓迎された懇親会でした。

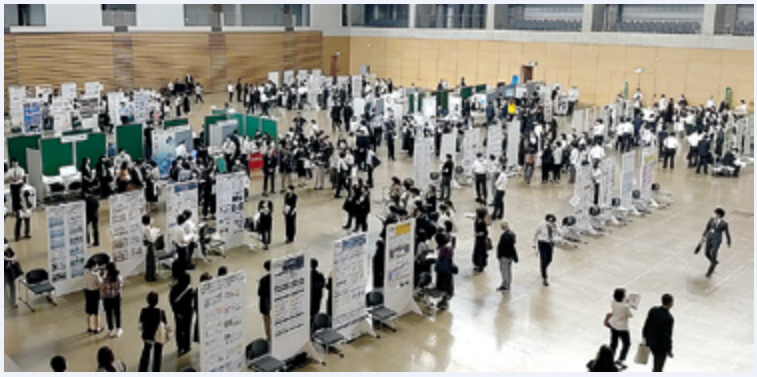
また高岡整志会病院ですときは絶対来てよ！というお誘いもありましたので、もし許されるのであればぜひまた皆様と議論を重ねたいと思っております。

このラ・サンテも熊本の地と富山の地に郵送されるはずです。皆さま本当にお世話になりました。この場を借りて深くお礼申し上げます。

大分県病院学会に参加して

看護部　影下　留美

9月29日に別府市で、第42回大分県病院学会が開催され、当院から12の演題が発表されました。私は「新興、再興感染症に備えた環境づくり」の取り組みについて発表させていただきました。学会での発表は初めてで緊張しましたが、実施から発表までたくさんの方の協力や応援をいただき無事発表することができました。学会では、一つの問題や症例について様々な視点で検討された結果が発表されており、看護や医療の奥深さを再認識するとともに、現場で取り組む姿勢や考え方を再考できる貴重な経験となりました。職場は違いますが、大分県内で活躍する医療職者の発表を聞くことができ、改めて地域のために、また患者さまへより良い看護ができるように頑張っていきたいと感じる機会となりました。



私とサッカー

回復期センター長
田村　裕昭

オリンピックも終わり、ようやく世の興奮も落ち着いてきた感じですね。

私とサッカーとのかかわりは古く、八幡製鉄病院の外科医師であった父が実業団サッカーの八幡製鉄のチームドクターをしていた関係で幼少期からサッカーに親しむ機会が多くありました。銅メダルを獲得したメキシコオリンピックのときに、釜本邦茂以外に得点した、八幡製鉄の選手で全日本代表だった渡辺正さんと、大学時代に西鹿児島駅（現在の鹿児島中央駅）の側の居酒屋で二人でお話しする機会がありましたが、〝試合中走って疲れた時に目の前に日の丸が浮かんで見えてなー〟の言葉が強く印象に残っており、今回のオリンピックの勝者の会話と重なる思いがしました。

高校（小倉高校）にはサッカー部がなかったので、当時活発になっていたサッカー熱もあり、サッカー部をつくろうと友人たちと盛り上がり、なんとか同好会の設立にこぎつけました。既成のクラブが使っているグランドは使えず、屋外の古いバスケットコートを使っての素人集団の練習が始まり、高3の時で受験もあり、存在を認めてもらうための形作りに必至の状況だったと記憶しています（数年後にクラブに昇格）。

鹿児島大学医学部では迷わずサッカー部に入りました。歓迎会で先輩たちに温かく迎えていただきましたが、八幡の大谷野球場で実業団サッカーの試合を見たときに、当時は試合前に選手たちがミニボールを観客に向かって投げ入れていましたが、客席からグランドに転げ落ちながらボールを取りに行った人を見た話をしましたが、〝そいはおいやっど！〟と先輩から声が上がりびっくりし、一同大爆笑となりました。（わざわざ鹿児島から汽車に乗って一人で見に行ったとのこと）。この縁もあり、サッカー部医学科の学生生活が始まり、6年間はサッカー生活にどっぷりつかりました。経験者が少なく、走るのだけは負けるなと練習でよく走らされましたが、鶴丸城の中にあった医学部グランドから裏の城山に走って登り、ハアハアしながら桜島や錦江湾の景色を臨む至極の時を過ごし、眼下に広がる天文館の灯り始めた明かりに、帰りに行くぞと暗黙の了解が出来上がり、勇んで軽い足取りで下ったものでした。キャプテンをしたときに、九州山口の医学生の大会で幸い6年ぶりに優勝することができ、チームワークの勝利に沸くオリンピックの団体競技選手達のインタビューの会話を聞くたびに懐かしく思い出しました。

オリンピックを見ていてついつい昔を思い出し、自分のことばかり書いてしまいましたが許していただければと思います。

最終試合が終わって（卒業記念試合で）

城山から臨んだ錦江湾と桜島、眼下の天文館

リハビリテーション領域でのエコーの活用状況

リハビリテーション部　副主任　辛嶋　良介

今年度よりリハビリテーション部に超音波装置（エコー）が導入されました。近年、エコーはリハビリテーション領域でも積極的に活用されています。これまで角度や動かした時の抵抗感などの感覚を基に評価していたものが、エコーを用いることで関節を動かした時の骨や周辺組織の動きを視覚的に捉えることができます。このため、患者さんに病態運動の説明に用いることで理解を深めることや、治療時に病的組織の構造や動きを同定することでリスク管理を行いながら実施できることなどが期待されています。

当院では、臨床研究として肩関節が拘縮した状態での上腕骨頭の動きの特徴や、膝関節の屈曲角度による前面組織の動態、荷重による半月板の変化を調査していました。外来リハビリ室にエコーが常備されています。これまでの知見を活かし、よりエコーを活用することで効率的なリハビリ計画を提案できるよう最善を尽くしてまいります。

秋を味わう オススメレシピ　きのこのおろし和え

今年の夏も暑かったですね。夏バテぎみで体だけじゃなく胃腸も疲れているのではないかと思います。
そんな夏を乗り切った体に癒しを！

材料（2人分）

- お好みのきのこ … 1パック
- だいこん … 3～4㎝(100g)
- ねぎ …… 適量
- 酒 …… 大さじ1
- 塩 …… 少々
- ポン酢しょう油 … 大さじ2
- 柚子胡椒 …… 適量

作り方

① だいこんをすりおろし、ややしっかり目に水気を切っておく。
② きのこを食べやすい大きさにほぐしボールに入れ、酒・塩を入れざっくり混ぜる。
③ オーブンの天板にアルミホイルをひき、きのこをかさならないように広げる。
④ 香ばしく焼き目がつくまで焼けたら、ボールに取り出し、①のだいこんおろし、ポン酢しょう油、柚子胡椒を加えて混ぜる。
⑤ 器に盛ってねぎを添える。

- だいこんおろしを鬼おろしで作ると食感に変化が出て、よりだいこんを味わえます。
- ベーコン（1枚）を加えると旨味が増し、ボリューム感がでます。（加える際は8㎜幅短冊切りにし、③の工程できのこの上に広げ一緒に焼く）
- ねぎの代わりに三つ葉（1株1.5㎝幅に切り⑤の工程で加える）でも違った風味を楽しめます。

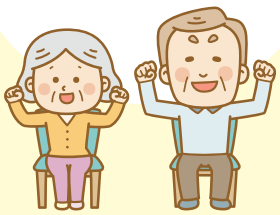
POINT

大根に含まれている酵素やビタミンCは胃腸の調子を整える効果があります。さらにキノコ類、特にしめじにはオルニチンという成分が含まれていて、疲労回復に効果があるんです。さらにさらに！しめじのオルニチンはなんとシジミの5倍もあるんです！疲労物質でもあるアンモニアを解毒するので、お酒を好まれる方にもオススメです♪

文責：栄養管理科　齋藤　潤哉

健康寿命を延ばすために

クリニックリハビリテーション科
馬場　健太



健康寿命とは、日常生活に支障なく健康で過ごせる期間を指します。人は、年を取ると段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならなくても手助けや介護が必要となってきます。このように心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイルと呼び、高齢者において、身体的および精神的な機能が低下し、日常生活の自立が難しくなり、疾病や障害に対する脆弱性が増す状態を指します。

健康寿命向上のために川嶌整形外科病院では月に一度、健康教室を行っています。健康教室では医師や看護師・リハビリなど様々な分野の専門家たちが、それぞれの長所を生かし健康についてのお話をしてくれたり、リハビリ科による健康体操もあります！

参加無料で人数制限もないので奮ってのご参加をお待ちしております。

SDGsの取り組み

省資源・省エネルギー委員会
楠生　早也花

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

省資源・省エネルギー委員会では節電だけでなく、「My箸・Myボトル月間」という期間を設け、SDGs（持続可能な開発目標）の１つとして活動し皆さんに呼びかけています。

ペットボトル飲料や、コンビニやスーパーでもらう使い捨てスプーン等は使用せず、My箸・Myボトルを使用してプラスチックごみを削減する目的です。

３R「①Reduce：ごみになるものを減らす（ペットボトルを使わない）」「②Reuse：ものを大切に繰り返し使う（ボトルを洗って何回も使う）」「③Recycle：再生利用製品を利用する（ごみの分別をしっかりする）」にも通じます。近年の活動では、皆さまのご協力もあり、Ｍｙ箸・Ｍｙボトルを使用している方が増えていますが、まだまだご協力が必要です。身近なことからコツコツと…

皆さんも使い捨てフォークやスプーンでの食事、ペットボトルでの水分摂取ではなく、My箸・Myボトルを意識して始めてみましょう。

ミス・アース出場

手術室看護師　武内　奈胡

２０２４年６月23日に行われたミス・アース大分大会にてグランプリを頂き、８月１日に行われた日本大会にてミス・ウォーター・ジャパンという名の３位を頂きました。

ミス・アースとは、環境保全の促進を目指すミスコンテストです。

ミスコンには、身長制限があるので、比較的高いヒールを履きます。私は、ミスコンに出場する中では、身長が低い方なので、18センチヒールを履いてレッスンを受けていました。18センチヒールを履くと身長が183センチになります。高いですよね（笑）

しかし、周りの子はもっと身長が高いんです。もしも足をねじったりしたら、当院にきてねーと宣伝していました（笑）

大分大会の本番はとても緊張しました。大分大会では靴ずれする子が多く、歩けなくなるほど痛い思いをしている子もいました。しかし、ステージに立つと痛い思いをしている姿は出さず終始笑顔でキラキラとした姿で立っていました。そのくらいこの大会に対する思いの強さを感じました。私自身も沢山努力をしたので、グランプリで名前を呼ばれたときは涙が止まりませんでした。

日本大会では、１週間のトレーニングが東京で行われました。出場者の方は、女優さんやグラビアアイドルが多くとても綺麗な方ばかりで、お会いした時は圧倒されました。「大分に帰りたいよ。」と心底思いました。しかし、ユーモア溢れる面白い方ばかりでとても楽しいトレーニング期間でした。

日本大会本番は、大分大会よりも大会時間が短く、体感１分でした。始めに１stセッションで15秒の自己ＰＲから始まり22人から15人に絞られ、２ndセッションは水着審査。15人から５人に絞られます。３rdセッションはドレス審査。その後、質疑応答となり順位が決定します。大分からたくさんの方が応援に来てくださっていたので「３rdセッションまでいかないと。」と思っていました。無事に３rdセッションまで残ることができたので、名前を呼ばれた時はとても嬉しかったです。順位発表も、私自身が想像していたよりも上の順位を頂けたので、とても嬉しくて感動したのを今でも鮮明に覚えています。

この大会に出場するにあたり、理事長をはじめ、応援して下さった先生方や勤務調整をして下さった上司、背中を押して励ましてくれた先輩や同期の方達に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、とても温かい職場で働けている事に感謝をしなければいけないとより一層感じました。

これからも川嶌整形外科病院の職員として、理事長の大切にしている環境保全に取り組み、感謝の気持ちを大切にし、看護師として患者様に寄り添えるように日々精進してまいります。

カワシマハンドセラピー研究会

2024.6.17
「症例報告」
中埜作業療法士
「プレート固定術による手指基節骨骨折の治療成績について」
岸本リハビリテーション部副主任

2024.7.22
「症例報告」
岸本リハビリテーション部副主任・永田作業療法士
「肘部管症候群　診断・治療」
白石作業療法士

2024.8.19
「症例報告」
杉木リハビリテーション部部長代理・阿部作業療法士
「屈筋腱断裂の治療」
川端作業療法士

膝関節勉強会

2024.6.12
「膝蓋骨骨折について」
高藤理学療法士

2024.7.10
「保護的早期運動療法について」
谷理学療法士

2024.8.14
「膝離断性骨軟骨炎について」
尾崎理学療法士

背椎勉強会

2024.6.5
「腰椎すべり症を呈した症例」
三代理学療法士

2024.7.3
「頚椎症性脊髄症を呈し、頸椎椎弓切除、椎弓形成術を施行した症例」
牟田口理学療法士

2024.8.7
「仙腸関節障害に対するswing石黒法の治療効果の検討」
辛嶋リハビリテーション部副主任

スポーツ医学勉強会

2024.6.3
「運動発達とスポーツ障害」
辛嶋リハビリテーション部副主任
「ブレイキンについて」
岸本リハビリテーション部副主任

2024.7.1
「アスリートと睡眠」
吉野理学療法士
「現代の子供の問題と認定スクールトレーナーについて」
橋本裕司理学療法士

院外発表・講演

2024.6.9
中津地方文化財協議会　（中津市）
「福澤諭吉と蘭学」
川嶌理事長講演

2024.6.13 ～ 6.15
Undersea and Hyperbaric Medical Society（UHMS）AMS　（ニューオリンズ）
「Hyperbaric Oxygen Therapy for Soft Tissue Infection,Including GasGangrene ,Necrotizing Fasiitis and Cellulitis」
山口高気圧酸素治療科統括科長発表

2024.6.22
九州作業療法学会 2024 in大分　（大分市）
「当院におけるDupuytren拘縮の治療成績」
川端作業療法士発表

2024.6.28 ～ 6.29
第58回日本高気圧潜水医学会学術総会　（中津市）
「中津蘭学のパイオニア精神と私の歩み」
川嶌理事長講演
「中津における高気圧・潜水医学のあゆみ」
川嶌院長講演

2024.7.12
2024年度中津市認知症多職種協働研修会　（中津市）
「認知症のある方への在宅支援」
太田看護師発表
第24回九州高気圧環境医学会　（鹿児島市）
「当院における減圧症の治療状況」
田村回復期センター長発表
「下肢難治性皮膚潰瘍に対する高気圧酸素治療」
宮田高気圧酸素治療科副主任発表

2024.8.23 ～ 2024.8.26
The 5th conference of Asia-PacificUndersea and Hyperbaric Medical Society　（台湾）
「HYPERBARIC OXYGEN THERAPY FOR OSTEOMYELITIS」
川嶌院長講演

院内勉強会

モーニングセミナー

2024.6.21
「骨髄炎治療を振り返って　PartⅡ」
田村回復期センター長

2024.7.19
「TKAの基礎と臨床」
永芳クリニック所長

2024.8.16
「整形外科に関連する感染対策」
川嶌院長

●放射線科　高橋健一郎
「防災出前講座（小楠校区自主防災会）防災意識の高揚『災害への備え』中津市防災危機管理科　防災危機管理監　嶋田浩一」より
●医局　渡邊副主任
「論語と算盤」より
●５階病棟　清水副主任
「稲盛和夫　考え方　人生・仕事の結果が変わる」より
●５階病棟　徳永師長
「くじけない力を養う27の法則」より
●訪問看護　中野副主任
「『新生』No.912 2023年10月号　物との付き合い方を考える」より
●ひだまり　檜原副主任
「『れいろう』令和5年9月　テーマ：「あたりまえ」の未来のために」より

第10回　2024年８月２日

●薬剤科　杉原主任
「安藤広大『数値化の鬼』」より
●クリニックリハビリステーション科　岸本副主任
「『到知』2023年5月号　今、そこにある危機」より
●クリニックリハビリステーション科　石井作業療法士
「『衆知』2020年5月号　難局を乗り越える～「研究」と「ものづくり」で大切にすべき「心」～」より

2024.8.5
「喫煙とスポーツ」
尾道理学療法士
「スポーツシューズとスポーツウェア」
川野拓海理学療法士

水　滴　塾

第８回　2024年６月７日

●ひだまり　浦岡主任
「植田　恵秀　おおらかに生きる–仏とともに–」より
●介護保険サービスセンター　小野　英樹
「『創業の人』と同行2人で歩む～伝え続けたい石橋信夫の言葉～」より
●クリニックリハビリステーション科　羽田主任
「武士道　新渡戸稲造（著）、岬龍一郎（訳）」より
●手術室　久保田副主任
「なぜ『若手を育てる』のは今、こんなに難しいのか」より
●３階病棟　大森副主任
「永松茂久　人は話し方が9割」より
●回復期リハビリテーション科　斎藤主任
「『ボケない人』の習慣、ぜんぶ集めました。」より

第９回　2024年７月５日

●回復期病棟　藤沢副師長
「スーパーチームをつくる！最短・最速で目標を達成する組織マネジメントバスケットボール男子日本代表ヘッドコーチ　トム・ホーバス」より

医局抄読会

第１、２、４火曜日の朝７時45分スタート

2024.6.4
腓骨後傾の減少と小児PCL損傷との関連
本山副院長

2024.6.11
脛骨遠位骨折の5年成績
古江副院長

2024.6.25
外傷性虚血と高気圧酸素
川嶌院長

2024.7.2
解剖学的及びリバース型人工肩関節置換術後における睡眠障害の改善
佐々木診療部長

2024.7.9
上腕骨周囲骨折における巻き付け締結ケーブルとロッキングスクリューの生体力学的安定性の比較
後藤診療部長

2024.7.23
60歳以上の患者における足関節骨折のプレート固定と比較したネイル固定後の高い合併症発生率に関する前向き無作為化比較試験
藤﨑医師

2024.7.30
上腕骨近位端部骨折の保存治療では、早期に手術移行するリスクは低い　スウェーデン骨折レジストリ31,761骨折を対象とした観察コホート研究
濱田医師

2024.8.6
ACL一次修復後の長期経過　補強の根拠を定義する
本山副院長

2024.8.13
不顕性舟状骨骨折の偽関節の頻度
古江副院長

2024.8.27
慢性非細菌性骨髄炎と慢性再発性多発性骨髄炎
川嶌院長

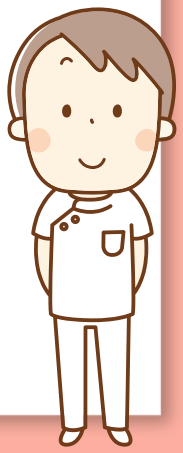
論文（共同含）・誌上発表

●川嶌眞人：杉田玄白と前野良沢に見る自然と食，養生七不可指南書ー杉田玄白に学ぶ長生きの秘訣ー：26-30，2024アリング操作に必要な肘・前腕の関節可動域の推定，日本ハンドセラピィ学会誌，16(2)：97-102，2024

かわしま訪問看護リハビリステーション

看護師募集!

当法人の訪問看護リハビリステーションは、看護師を募集しております。
小児から高齢者までの種々の疾患をもって在宅で療養している方に、
看護を提供したいと思っている方のご応募やご紹介をお願いします。
当院のホームページから募集内容を閲覧できます。



連　絡　先

川嶌整形外科病院 0979-24-0464

在宅事業部　尾形

編集後記

猛暑から解放され、読書やスポーツ、おいしい秋の味覚など楽しみが増えました。
皆さんはいかがお過ごしでしょうか。
涼しくなるにつれて空気が澄んで星がきれいに見えるので、夜空を眺めるのが大好きな私は秋の夜長を楽しみたいと思います。
これから日増しに冷え込みが厳しくなりますのでお体に気を付けて秋を満喫してください。

（E・Y）

患者さんの権利と責務

権　利

1．病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2．人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善で安全な医療を受ける権利があります。
3．医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4．医療内容について、医学的に必要な情報提供を受けたうえで、自分で選択し決定する権利があります。
5．医師・病院を自由に選択し、他の医師の意見を求める権利があります。
6．自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
7．意識が無いか判断能力を欠く場合や未成年者の場合、代行者に決定を委ねる権利があります。
8．自己の診療記録の開示を求める権利があります。
9．プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
10．健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
11．安全を確保される権利があります。

責　務

1．医療提供者に対し、患者さんご自身の健康に関する正確な情報の提供をお願いします。
2．他の患者さんの療養生活に支障を与えないよう配慮をお願いします。
3．早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守をお願いします。
4．円滑な医療行為のための、医療提供者との協力関係の構築をお願いします。
5．早期回復の為の、患者さん・ご家族の積極的な医療への参加をお願いします。
6．医療の安全性を高めるために最大限の努力を行っていますが、あらゆる医療行為は本質的には不確実です。意図せざる結果や予期しえぬ病気が発生する場合があることをご理解ください。
7．診療費の遅滞ない支払いをお願いします。